

政策調整会議の概要

開催日 平成 30 年 5 月 24 日（木）

◎項 目

- 1 ハラスメントの防止について【総務部】
- 2 入札契約手続きの誤りの再発防止について【林業振興・環境部】
- 3 第 38 回全国豊かな海づくり大会について【水産振興部】

◎内 容

1 ハラスメントの防止について【総務部】

総務部よりハラスメントの防止に関する説明及び協議が行われた。

（総務部）

平素から、ハラスメントの防止について再三注意喚起を行っている中、管理職員によるハラスメント事案が発生し、懲戒処分を行った。

このような不祥事は、県の信頼を損なうこととなる重大な問題であり、再発防止に努めなければならない。全職員に対し、ハラスメント防止に関する通知を発出するとともに、例年実施しているハラスメント研修についても例年より早期の段階で実施する。

（副知事）

管理職員の研修など機会ある毎にハラスメントの防止について説明をしているが、定期的にハラスメントが発生している。

発生した多くが酒席であるが、「記憶がない」では済まされない。職員には、節度ある飲酒を心掛けてもらい、セクハラについて今一度勉強していただく等して、再発防止に努めていただきたい。

また、不適切事案が発生した際に、きちんと上司に報告が出来る職場環境の醸成に努めていただくようお願いする。

2 入札契約手続きの誤りの再発防止について【林業振興・環境部】

林業振興・環境部より入札契約手続きの誤り及び再発防止に関する説明及び協議が行われた。

（林業振興・環境部）

治山復旧工事に係る一般競争入札において、予定価格に積算ミスがあったことが判明した。工事で使用する材料の改定後の単価が積算システムに反映されておらず、誤った単価のまま積算してしまったことが原因である。今後、単価改定作業手順の明確化や確認作業の見直し、部内での情報共有や研修会の開催によるチェック力の向上を図りながら、ミスを見逃さないチェック体制の強化を徹底し、再発防止に取り組んでいく。

（副知事）

ミスが発生するたびに再発防止策を講じてはいるが、その対策とは別の原因で新たなミスが発生している。発生元となった原因のみではなく、全体の工程を捉えて、今後同様の事案が発生することがないように努めていただきたい。

3 全国豊かな海づくり大会について【水産振興部】

水産振興部より、第 38 回全国豊かな海づくり大会に関する説明及び協議が行われた。
(水産振興部)

本年 10 月に、本県で明治 150 年記念第 38 回全国豊かな海づくり大会～高知家大会～が開催される。開催にあたり、全国豊かな海づくり大会高知県実施本部を設置し、大会を運営することとなる。

実施本部には、各部局から 1,000 人以上動員予定。無事に大会を完遂するため、今後の大会運営に協力をお願いする。